

実施工程表（作成例）～単科大学編～

取組項目	学校種別	経費改善計画 該当箇所	実施目標	実施計画	実施責任者 担当部署	取組内容/数値目標	重点 事項	202X(令和X)年度				令和X年度までの進捗状況 (自己評価含む)	今後の計画	202X(令和X)年度				令和X年度までの進捗 状況 (自己評価含む)	今後の計画	202X(令和X)年度				令和X年度までの進捗 状況 (自己評価含む)	今後の計画	202X(令和X)年度				令和X年度までの進捗 状況 (自己評価含む)											
								4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月												
								(目標)						(実績)						(目標)						(実績)					(目標)				(実績)						
教学改革 計画	α 大学	P 6～	外国語学部の学 科新設と定員の 見直し	「ビジネス英語学 科」の新設及び入 学定員（含む3年次 編入学定員）の見 直し	学長 外国語学部 長	ビジネス英語学科の新設 目標：令和XX年度設置	◎	4月	7月	10月	1月	外国語学部に「ビジネス英 語学科」を新設した。教育 プログラム策定の遅れに伴 い、募集の初動が遅れたた め志願者が思うように伸び なかった。これにはアピー ル点の情報共有が不十分で あったことも起因する。 ≪本年度実績≫ ・入学定員：85人 ・志願者数：160人 ・入学者数：78人 ・入学定員充足率：91.8%	「ビジネス英語学科」新設 の目標は達成されたため、 今後は学生募集対策等で新 たな取り組みを行ってい く。	4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月						
								(目標)						(実績)						(目標)						(実績)						(目標)						(実績)			
		P 0～																																			
		β 短期大 学	P 0～																																			
学生募集 対策と学 生数・学 納金等計 画	α 大学	P 9～	第一期計画の最 終年度には入学 定員充足率 100%以上を目 指す	入学定員の充足・ 入学者数の確保に 向けた募集対策計 画から下記の通 り、年度ごとの明 確な目標を設定す る。	広報戦略室長	入学定員充足率の確保 5年後最終目標：100% 入学定員：170人 ※令和XX年度入学定員充足 率85%（入学定員：200人）	◎	4月	7月	10月	1月	目標値は達成できなかつ た。要因の一つに新学科で あるビジネス英語学科の広 報不足が挙げられる。 ≪本年度実績≫ ・志願者数：328人 ・入学者数：160人	今後も下記取り組みを行 うことで引き続き目標値の 達成に努める。	4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月						
								(目標)						(実績)						(目標)						(実績)						(目標)						(実績)			
								100%						94.1%						100%						100%						100%						100%			
					広報戦略室長	オープンキャンパスの参加 者数増加 5年後最終目標：300人 ※令和XX年度参加人数225人		4月	7月	10月	1月	新学科設置ということも あり、参加者数が増加し た。しかし、参加者の出願 率は前年度より低下し、入 学者獲得にはつながらな かった。	新学科設置の認知度がま だまだ低いため、来年度は さらに広報に力を入れてさ らなる参加者増加を目指 す。 また、教育内容が高校生 に伝わっていないことが出 願率低下にもつながると 考えられるため、今一度OC イベントの内容の見直しを 行う。	4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月						
								(目標)				(実績)				(目標)				(実績)				(目標)				(実績)													
								230人				245人				240人				250人				260人				300人													
					外国語学部長	高校生による英語プレゼン テーション・コンテストの 実施 最終目標：100人		(目標)				(実績)				60人				70人				90人				100人													
人事政策 と人件費 の抑制計 画	—	P 1 4～	教職員の適正配 置による人件費 XXX千円の削減	教職員の適正配置 による人件費XXX千 円の削減	財務担当理事 財務部財務企画 課	人件費XXX千円の削減 ※令和XX年度 人件費〇〇〇百万円	◎	4月	7月	10月	1月	今年度は〇〇百万円の削減 にとどまった。	今後も教職員の理解・協 力を得ながら人件費の抑制 に努める。	4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月						
								(目標)						(実績)						(目標)						(実績)						(目標)						(実績)			
								△〇〇百万円						△〇〇百万円						△〇〇百万円						△〇〇百万円						△〇〇百万円						△〇〇百万円			
					財務担当理事 財務部財務企画 課	①教員の定年後の再採用の 停止、教員の70歳以上の再 契約の停止		4月	7月	10月	1月	学科再編の完成年度までは 経過措置を設けた。経過措 置による再雇用者は2人。	導入そのものには了承を得 たが、適用対象年齢や退職 金の割増率については、継 続協議となった。	4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月			4月	7月	10月	1月						
								(目標)				(実績)				0人				0人				0人																	
					財務担当理事 財務部財務企画 課	②選択定年制度の 導入																																			
					財務担当理事 財務部財務企画 課	③教職員の適正配 置による人件費XXX 千円の削減		(目標)				(実績)				1人				1人				1人																	